

■人間用の道作り■

ほぼ週刊【松村拓也のメルマガジン】第 373 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

ご意見、ご質問大歓迎です。

オンラインの議論をご希望の方は、気軽に返信ください。

.....

373 目次

1. トピックス：先週のはじめまして
2. ブログより：人間用の道作り
3. 今週のお誘い+今後の予定
4. 地主の学校・販売中
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

.....

1. トピックス：先週のはじめまして

先週のトピックスでお伝えした通り、なぜかたくさんの方の初訪問と初対面が実現しました。

コロナが収束した訳ではありませんが、やはり「リアルはじめまして」が面白いですね。

- ・ 7 火 おひさまのおうちにて <https://www.facebook.com/OhisamaHomeEducation/>
主催者の KG さん、そして地主の学校に集まってくださった皆さん、ありがとうございました。
- ・ 8 水 ふきの庭にて <http://fuki.land-resource.org/>
主催する KN さんとお嬢さんの FM さん、掃き清められたお庭とテントサウナが快適でした！
- ・ 9 木 かみいけ木賃文化ネットワークにて <https://mokuchin-bunka.com/projects/kissa-merry/>
ご案内いただいた NY さん、そしてお付き合いいただいた京島の DG さん、HH ちゃんありがとうございました。
- ・ 10 金 子安の丘みんなの家にて <https://minnanoie.site/>
リライトの YT 社長と KA 部長さん、そして現地を盛り立てる建築家の MK さんと KK 会長さん、HA さんのお料理も最高でした。
- ・ 11 土 笑恵館 <http://shokeikan.com/> & 一宮庵 <https://ikkuan.com/>
おかみの FS さんがやってきたので、受付見習い中の O さんを紹介して成城一宮庵に送り込んでみました。
- ・ 12 日 いづみプロジェクトにて doode | <https://doode.work/>
イベント企画を提案して下さる KW さんと、不思議な図書館づくりに取り組む doode の YK さん、これからもよろしく願いいたします。

僕は、知り合った方とのお付き合いを継続させるため、このメルマガを図々しくお届けしていますが、僕とつながらなくても、このメルマガを見ている方同士が繋がるかもしれないと 今日 気づきました。

なので、今後は初めましてに関わらず、お目にかかった方の情報もお伝えしようと思います。

.....

2. ブログより：人間用の道作り

今僕は、名栗の森で道づくりにハマっている。

名栗の森とは、埼玉県飯能市にある名栗湖に面する山林のこと。

山林を活用できずに困っていた所有者 Oさんと、所有権を分かち合う「オーナーシップクラブ」を作り、仲間づくりを初めて5年が過ぎた。

自伐型林業と呼ばれる小規模林業に挑むSさんが入会してきたのは3年前。

ついにこの春、極力立ち木をよけながら、軽トラックがギリギリ通れる道を、ミニユンボ（小型重機）で切り開いた。

それは立派でも便利でもない、粗末で不便な道だが、小さな子供でも高齢者でも、ゆっくり歩けば誰もが山の上までたどり着くことができる。

つまり、大きな機械や車両でなく、人間のための道と言える。

・

これまで山林の利活用と言え、樹木や動植物を守ることばかり考えて、道作りに代表される開発行為は、自然破壊と決めつけていた。

でも、今回の道づくりを「開発行為」と思えないのはなぜだろう。

それは、極力自然を壊さないように、配慮を欠かさずに行うからだ。

できるだけ、地面を掘ったり木を切らないで済む経路を選び、切った木は土留めに使いながら掘った土で埋めていく。

こうして、極力何も持ち込まず、何も持ち出さないように配慮するのは、自然を大切にするというよりは、余計な手間を省くため。

つまり、極力開発せずに済ませたいと願うから、これを開発行為とは思えない。

・

だが一方で、道はひとまず出来上がっても、完成には程遠い作りかけの状態だ。

雨が降ればぬかるんで崩れてしまうかもしれないし、やがて草木が生い茂り道は見えなくなってしまうかもしれない。

わずかな放置や油断が許されない、終わりが無い道づくりだからこそ、自然に抗う開発だ。

そもそも放置林問題とは何なのか・・・むしろ自然の森は、放置することが大切なはずだ。

問題になる放置林とは、大きく分けて「施業放棄された人工林」と「里山放置林」の二種類で、いずれも人間の関わりが継続しない放置のこと。

先日「継続しなくちゃ社会じゃない」と書いたばかりだが、またしても継続しないことが問題を引き起こしていることに、僕はうんざりする。

・

林業と言え、スギ・ヒノキなど針葉樹の植林による造林と伐採を思い描くが、真っ直ぐで形のよい木材を生産するためには貝割れ大根やもやしのように、高密度で植えるのが効果的だ。

だが、成長に合わせて間伐（間引き）して密度を調整しないと、一本一本は貧弱な木になり、また、下層植生も貧弱となるため、山全体が災害に対して脆弱で、生物多様性も低くなる。

さらに、搬出材の販売では伐採費用しか捻出出来ず、伐採跡地への再造林をせずに放置する地域もある。

また、薪炭林や農用林として人が利用し維持されてきた里山も、原生林とは植生も樹形も異なり、人が利用することで萌芽更新を繰り返し、株立ちの若木という形が保たれていた。

しかし、利活用が廃れた里山放置林では株立ちのまま大木となり、老齢木につく虫や菌の異常繁殖によって集団枯損すると天然更新が追いつかず、山の生態系バランスが崩壊する。

・

かつて、林業による造林や里山としての利活用が継続したのは、自然循環と開発速度が絶妙にバランスしていたおかげだろう。

産業革命を経て効率化、大型化、大量化が進むにつれ、人間の開発（破壊）スピードと自然の再生（回復）スピードに、取り返しのつかない乖離が生じた。

我が国における農林道の整備は劇的に進行し、農林業の機械化が実現した。

便利な舗装路、トンネル、橋梁などが高速かつ大量輸送を実現し、曲がりくねった遠回りの既存の山道は旧道として朽ち果てていく。

これを体内の血管に例えれば、車両や大型重機が行き交う舗装道路のような太い血管に依存するうちに、毛細血管のように張り巡らされた人の道が失われている末期的な状況だ。

・

農地や山間部の問題だったはずの「獣害」が、今や住宅地や都会にまで押し寄せてきているのは、道を失った人間が家や車の中に閉じこもっているからだと思う。

日本国土の7割近くが山林の日本において、山中の道を捨てることは、国土を獣に明け渡すに等しい。

さらに言えば、モビリティの自動化や効率化が進むことで、国土の機械やAIへの明け渡しも進んでいる。

これでは、僕ら自身が社会を担う「民主化」を目指すどころか、人間の排除を受け入れ、助長するだけだ。

だから今、僕は「人間用の道づくり」に取り組みたいと思いつつ。

それは「人間が歩くための道」であり、「自分自身で作る道」のことを指す。

<https://nanoni.co.jp/20220612/>

.....

3. 今週のお誘い+今後の予定

【凡例】◎：申込優先、○：申込必要、×：一般参加不可、下記以外の時間はすべて応相談

■今週の予定

(火) 06/14 なのに (自宅) 作業日

会議○：20-21時 LR 定例営会議 (zoom)

(水) 06/15 なのに (各所) 作業日

(木) 06/16 なのに (各所) 作業日

交流◎：13-18時 笑恵館なるほどデイ (笑恵館)

交流○：18-20時 笑恵館完全持ち寄り食事会 (笑恵館)

会議○：20-21時 一宮庵クラブ運営会議 (成城)

(金) 06/17 いづみ (横浜) 作業日

訪問○：10-12時 名栗の森オーナーシップクラブ山荘調査 (飯能)

(土) 06/18 笑恵館 (世田谷) 作業日

交流◎：09-17時 よろず相談会 (笑恵館)

(日) 06/19 いづみ (横浜) 作業日

交流◎ : 09-12 時 PJT 説明会 (いづみ)

交流◎ : 12-18 時 いづみ tea&bar (いづみ)

会議× : 13-16 時 チャレンジアシスト P 1 次審査会 (zoom)

(月) 06/20 なのに (自宅) 休業日

会議○ : 22-23 時 八島花文化財団準備室 MTG (zoom)

■定例の予定

月曜・毎週 22-23 時 ○八島花文化財団準備室 MTG (zoom)

火曜・第 2,4 20-21 時 ○LR 定例営会議 (zoom)

水曜・第 1 10-12 時 ○OforW 経営運営会議 (zoom)

第 2 08-10 時 ×AR チーム MTG (zoom)

木曜・第 2 15-16 時 ×かなこ PJT (zoom)

17-19 時 ◎笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)

第 3 13-18 時 ◎笑恵館なるほどデイ (笑恵館)

18-20 時 ○笑恵館完全持ち寄り食事会 (笑恵館)

20-21 時 ○一宮庵クラブ運営会議 (成城)

第 4 17-19 時 ◎笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)

金曜・第 4 18-19 時 ◎カプラー起業交流会 (zoom)

土曜・毎週 09-17 時 ◎よろず相談会 (笑恵館)

第 1 21-22 時 ×喜多見共和国 MTG (zoom)

第 2 12-14 時 ×RYUSEN PJT (zoom)

日曜・毎週 09-17 時 ◎いづみ PJT オープンデイ、説明会 (反町)

第 1 10-11 時 ×100smile 会議 (zoom)

第 4 10-14 時 ○名栗の森オーナーシップクラブ月例会 (飯能)

■今後の予定

06/21 会議× : 17-18 時 すべてに開かれた会 (反町)

06/27 訪問○ : 黒澤瓦店+パクチー銀行 (千葉)

07/03 会議○ : 17-21 時 八島花文化財団設立総会 (京島駅)

07/07 交流○ : 10-12 時 都市農業を考える 2 (笑恵館)

07/10 交流○ : 13-16 時 チャレンジアシスト P 公開審査会 (夢の島)

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

4. 地主の学校・販売中

拙著【地主の学校】はこちら

<https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-23339-0.jsp>

セミナー、読書会など気軽にご相談ください。

.....

5. アクセスポイント

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携帯 090-9830-3669

自宅：株式会社なのに（取締役・平社員）

〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1

<http://nanoni.co.jp/>

職場：一般社団法人日本土地資源協会（代表理事）

<http://land-resource.org/>

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19 笑恵館

<http://shokeikan.com/>

主な所属団体：

特手非営利活動法人 HOME-FOR-ALL（事務局長）

<http://www.home-for-all.org/>

一般社団法人地域社会圏研究所（事務局長）

<https://localrepublic.jp/>

ユナイテッドスクールオブ東京（顧問）

<https://www.united-school.jp/>

.....

6. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事の抜粋などの情報をほぼ毎週お届けします。

参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://eepurl.com/dHjgFX>

フェイスブックグループはこちら

<https://www.facebook.com/groups/atamanonaka>

まぐまぐ版はこちら

<http://www.mag2.com/m/0001693746>